

勿凝学問 326

いま、政治家の言葉を論じてもなんの意味もないぞ
二度あることは三度あるのか、それとも三度目の正直なのか？

2010年7月19日
慶應義塾大学 商学部
教授 権丈善一

先日、参院選後の展開は？との話があったから、次を返信。

選挙結果に基づいた将来のこと、希望は言えるけど予測はできないよね。
今の時代、両院がほぼ等しい権限をもつ2院制を持っている国は日本くらいしかないわけで、こういうおかしな制度の下では、政界の動向はブラウン運動かランダムウォーク現象になってしまうだろうな。次でもご笑覧を。

勿凝学問 56 [貴族院を譲歩させた英国と参議院に譲歩した日本——日本の政治はどのような彷徨\(さまよ\)いをみせてくれるのか](#)

勿凝学問 101 [参議院を制した二院制否定論者たち——民主党代表と民主党幹事長の参院大改革論のご紹介](#)

と言っても、判断材料がまったくないわけではない。ただし、二度あることは三度あるのか、三度目の正直なのかは分からないけどね——二浪の浪人生に言うような言葉だな(笑)。

2007年9月12日	安倍首相辞任
2008年9月1日	福田首相辞任

臨時国会がはじまる9月の持つ意味は大きい。それまで、ねじれ国会の下での政治家の言葉を報道しても、なんの意味もないね。8月末まで夏休みでもとっていたらどうだ？

福田さんが辞任する一ヶ月前の2008年8月1日には、福田さんは内閣改造をやって、一年以上も前に安倍さんが組閣していた[内閣を一新](#)し、上げ潮派やデマゴークを一掃していた——でも、辞任は丁度その一ヶ月後。さすがに、8月の内閣改造の時点で1カ月後を読め

んだらう——当時、それを読んでいたのは、首相の生殺与奪の権限を握っていた連立の相手だけだったりして…？

付録

福田内閣改造時の総理記者会見

(質問)

今回の内閣改造では、例えば与謝野大臣始め経済閣僚に消費税に理解を示すメンバーが目立つように思います。総理のムダ・ゼロなどの歳出削減努力というものは承知しておりますけれども、今回の配置が消費税増税に向けた、いわゆる環境整備というねらいがあるのかどうかを伺いたいと思います。

(福田総理)

消費税のことについては、財政再建を考えた場合に、だれもが考えていることではないかと思えます。消費税なしで財政再建ができるということもとても考えられないし、また同時に、国民の安心できるような社会保障制度も成り立たないと思っております。

ただし、それをいつ実現するのか、実行するのかということになりますと、それはさまざまな意見がございますけれども、しかし、今すぐ、それをやろうということ、例えば、今、おっしゃったような方々が言っているというふうにも思いません。それは、消費税についてはしっかりと議論する。そして、消費税をどういうふうにこれから扱っていくかということについて、きちんとした道筋を立てていく。そして、国民に十分説明をしていくことが大事なんだと私は思っております。